

論理思考と問題解決スキル

Problem Solving and Logical Thinking Skill

| | | | |
|------|--------------|---------|------------|
| 担当教員 | 富永公規（客員） | 単位数 | 2単位 |
| 開講学期 | 冬学期 | 開講曜日・時限 | 水曜日 1・2時限目 |
| 位置づけ | ビジネススキル 応用段階 | | |
| 区分 | 総合・実践科目 | | |

| 科目紹介 | |
|-------------|---|
| 科目の重要性・必要性 | 本科目では、ビジネスパーソンに求められる論理思考、プレゼンテーション、問題解決といった基本的なビジネススキルの習得を目指す。 なお、他科目における研究、レポート作成、プレゼンテーションの際にも非常に役に立つ内容である。 |
| 科目の目的 | 本科目の授業では、ビジネススキルの理解だけにとどまらず、演習を通じて考える、まとめる、書く、伝える、提案するといった実践的な活用方法を学び、現在あるいは将来、現場を牽引するリーダーとして活躍するための必須スキルを身につけることができる。 |
| 到達目標 | 受講者は、本科目を受講することによって、①論理思考の基礎、②自身の考えをまとめる、③わかりやすい資料を作る、④わかりやすく伝える、⑤問題を明確にする、⑥原因を追求する、⑦対策を立案する、といった実務で必要となるビジネススキルを修得できるとともに、周囲と協働して仕事を進めていくための共通言語を習得する。 |
| 受講してもらいたい院生 | 本科目は、すべての院生に推奨する。 具体的には将来マネージャーを目指す方、中小企業経営者及び後継者・幹部候補社員、起業家、中小企業を対象とするコンサルタントなど、周囲を巻き込んで仕事を進めていく立場のあらゆるビジネスパーソンに受講していただきたい。 |

| 授業計画 |
|------|
|------|

| | | |
|-----|---------|--|
| 第1回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 復習として、学習内容を実務で活用する |
| | 授業内容 | 論理的に考え、そして周囲に伝えるための重要スキル 思考とコミュニケーションにおいて論理的であることの重要性、そして情報を構造化することの重要性を理解しながら、使いこなすためのスキルを演習で身につける |
| | 授業課題 | 無 |
| 第2回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 連続授業のため第1回と同じ内容 |
| | 授業内容 | 連続授業のため第1回と同じ内容 |
| | 授業課題 | 無 |
| 第3回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 復習として、学習内容を実務で活用する |
| | 授業内容 | 提案のための主張構築手法 ピラミッドストラクチャを活用して、自身の主張を構築して提案するスキルを演習で身につける |
| | 授業課題 | 無 |
| 第4回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 連続授業のため第3回と同じ内容 |
| | 授業内容 | 連続授業のため第3回と同じ内容 |
| | 授業課題 | 無 |

| | | |
|-----|-------------|---|
| 第5回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 復習として学習内容を活用し第7-8回のプレゼン資料の素案を考えて記述する |
| | 授業内容 | 分かりやすいプレゼンテーション資料の作成技術 分かりやすいプレゼンテーションとはどのようなものか、具体的な事例を使いながら理解し、特に資料作成に関するスキルを演習で身につける |
| | 授業課題 | 無 |
| 第6回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 連続授業のため第5回と同じ内容 |
| | 授業内容 | 連続授業のため第5回と同じ内容 |
| | 授業課題 | 無 |
| 第7回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 予習として、前回の復習で仕上がったプレゼン資料の実際のプレゼン練習を行う |
| | 授業内容 | プレゼンテーション実践① 講義の復習で検討したプレゼン資料について実際の発表を行うことで、論理性と資料作成力の2つの側面から、講義内容の理解を深め実践的で総合的なスキルを身につける |
| | 授業課題 | 有 |
| | 課題フィードバック方法 | 個別フィードバック |

| | | |
|------|-------------|--|
| 第8回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 連続授業のため第7回と同じ内容 |
| | 授業内容 | 連続授業のため第7回と同じ内容 |
| | 授業課題 | 有 |
| | 課題フィードバック方法 | 個別フィードバック |
| 第9回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 復習として、学習内容を活用し職場の課題の改善提案を検討する |
| | 授業内容 | 問題解決の考え方と手順 自身の思考特性を知った上で、問題解決とは何か、どのように考えるのかを理解し、問題解決の手順を身につける |
| | 授業課題 | 無 |
| 第10回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 連続授業のため第9回と同じ |
| | 授業内容 | 連続授業のため第9回と同じ |
| | 授業課題 | 無 |
| 第11回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 復習として、学習内容を活用し職場の課題の改善提案を検討する |
| | 授業内容 | 問題解決の手順に沿って、具体的なポイントを理解しながら、演習を通じて使いこなすためのスキルを身につける |
| | 授業課題 | 無 |

| | | |
|------|-------------|--|
| 第12回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 連続授業のため第11回と同じ |
| | 授業内容 | 連続授業のため第11回と同じ |
| | 授業課題 | 無 |
| 第13回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 復習として、学習内容を活用し職場の課題の改善提案を検討する |
| | 授業内容 | 問題解決の手順に沿って、具体的なポイントを理解しながら、演習を通じて使いこなすためのスキルを身につける |
| | 授業課題 | 無 |
| 第14回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 連続授業のため第13回と同じ |
| | 授業内容 | 連続授業のため第13回と同じ |
| | 授業課題 | 無 |
| 第15回 | 予習・復習時間 | 4時間 |
| | 予習・復習内容 | 予習として、これまでの学習内容全般を活用し、職場の課題の改善提案を資料にまとめる |
| | 授業内容 | 実務テーマにおける問題解決の実務課題演習 自身の抱える実務問題をテーマに、これまでに学んだ問題解決手法を活用して問題解決を行い、総合的な問題解決実践スキルを身につける |
| | 授業課題 | 有 |
| | 課題フィードバック方法 | 個別フィードバック |

| 授業情報 | |
|------|--|
| 授業方法 | 本科目は受講生同士のグループワークを中心にして、双方向コミュニケーションを取り入れた講義形態を採用している。 |
| テキスト | 各回においてオリジナル資料を配布する。 |
| 参考図書 | <p>■前半 ロジカル・プレゼンテーション——自分の考えを効果的に伝える戦略コンサルタントの「提案の技術」 高田 貴久（著） 英治出版 ISBN-10: 4901234439</p> <p>■後半 問題解決——あらゆる課題を突破する ビジネスパーソン必須の仕事術 高田 貴久（著）、岩澤 智之（著） 英治出版 ISBN-10: 4862761240</p> |

| 評価方法 | | |
|--------------|------------|--------------------------|
| 評価の視点 | 評価 ウェイト | 備考 |
| 論理思考のポイント理解度 | 40% | 論理思考に基づくプレゼンテーション資料の仕上がり |
| 問題解決のポイント理解度 | 40% | 問題解決に関する課題レポートの仕上がり |
| 受講態度 | 20% | 積極性と学習内容の理解 |
| 合計 | 100% | |

| 受講生へ (授業科目のアピールポイント、必要な基礎となる科目の履修や知識・スキル) |
|---|
| 皆さんの業務にも役立つ実践的なスキルについて、クラス内で受講生間の意見交換の機会が多くありますので、授業ではぜひ積極的に発信してください。 |